

2018年度「論考 建築設計」論文募集要項

「論考 建築設計」は、年1回発行され、学術性の基盤の上に、独創性・新規性・発展性ある建築設計に関わる学術論文、学術報告の投稿を受け付けています。2019年春発行の「論考 建築設計」04号に掲載される論文を、下記の要領によって募集します。2018年12月31日までに必要な資料を事務局まで提出してください。

1. 応募条件

本学会員に限ります。学会員以外の方は、事前に入会申込をしてください

2. スケジュール

2018年5月26日	募集開始
2018年12月31日	応募締め切り
2019年1月～2月	査読期間（完了次第採否決定を通知）
2019年春	発行予定（総会時に発行・配布）

3. 論考の種類と掲載条件

①査読付き学術論文と②研究報告（査読なし）の2本立てとし、幅広い論考を集めます。

掲載のためには、当学会の投稿に関する下記の規程を満たしていること。

(1) 査読付き学術論文の場合は、ピアレビュー方式にて査読委員の3名の過半数の審査を経て掲載が妥当と認められること。なお採用の場合も修正要望が付される場合があります。

査読付き学術論文が不可の場合も、著者の希望により、次号に研究報告として掲載可とする。

(2) 学術報告の場合は、査読を経ずレイアウト等の微調整をしていただき掲載されます。

(3) 学術論文、研究報告にかかわらず、投稿にあたっては、下記の点に留意してください。

- ・過去の研究への言及と、従来の研究の流れの中での自己の研究の位置づけ、独自性が明確になっていること。
- ・論証や実証に必要な文献・資料の参照が行われていること。
- ・歴史的事実等については、事実が正確であるかどうかの確認を行っていること。
- ・応募する論文は未公表のものであること。また、他の学術誌等への投稿の予定がないものに限る。

(4) (査読の有無、最終的な掲載の可否にかかわらず) 1編につき投稿料3万円をお支払いいただくこととします。投稿受付次第、事務局より請求書をお送りします。

4. 必要資料

日本建築設計学会のWebサイトから、下記の書式をダウンロードして原稿を作成してください。

(1) 登録票 (excel)

(2) 論文フォーマット (word)

※指定のフォーマット以外の形式は認められません。

※今年度より書式が変更されましたので、ご注意ください。

5. 執筆要領

(1) 原稿

- ・原稿レイアウトは、当会 HP から、「論文フォーマット」のデータをダウンロードの上、上書きするかたちで原稿を作成のこと。
- ・査読付き学術論文、研究報告ともに、ワードファイル (doc、docx) で作成した本文データを編集委員会にメールで提出すること (データ容量は 10MB 以内を目安とする)。
- ・いずれの場合も「登録票」に必要事項を記入の上、原稿とあわせて提出すること。
- ・査読付き学術論文、研究報告の図表は、そのファイル形式は JPEG 等の一般的なものとし、解像度や画像サイズ等を適切に設定すること。

(2) 原稿の分量

本文、図版、図表、注等をすべて含めて、B5 判変形サイズ (247mm×182mm) で 8 頁以内とする。

(3) 図・表のレイアウトなど

図版はモノクロームとし、位置の指定、大きさ、レイアウト、必要なトリミングなどはすべて執筆者が行うこと。図版などの著作権の問題があると思われる場合は、執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は、著作権についての責任を負わない。

6. 査読方針

以下に該当する場合は不採用とする。

- ・新しい知見がない。
- ・関連研究の引用、展望が不十分である。
- ・論旨に飛躍・矛盾など重大な問題がある。
- ・重要な説明が欠如もしくは証明が不十分である。
- ・実験、調査の方法の結果の信頼性・再現性に重大な疑問がある。
- ・設定した問題に対して、対象を正しく把握していない。
- ・文章として完成していない。
- ・他に既に発表されている。

※採用不採用に関わらず、すべての投稿論文に査読委員からのコメントをお送りします。

7. 原稿等の送付・問い合わせ先

日本建築設計学会事務局内 「論考 建築設計」編集委員会

〒530-0047 大阪市北区西天満 2-8-1 大江ビルヂング 412 号室メール：office@adan.or.jp

メールの件名は【設計学会】応募論文としてください